

## 講演テーマ「電子立体内視鏡を基に ～開発過程について～」

- 日時 2017年5月17日(水)
- 場所 コリサーチ株式会社地下ホール
- 参加人数 16名
- 担当幹事 仲渡 英生

第338回オプトフォーラムは、光学器械工房 アップ・フュンフ 森住雅明様をお招きして、「電子立体内視鏡を基に 開発過程について」と題して 過去に経験された電子立体内視鏡の開発過程で、課題を見出し、推論を立て、具現化し、考察を加え、改善する、といったいわゆる「P D C A」のような考え方で開発をおこなったという経験論をご講演いただきました。

森住様は、長く光学メーカーに勤められ、おもにメカ設計に携わってこられました。内視鏡であることの制限、立体視による制限、これらをどのように克服したかについて、具体的にお話をいただきました。また、辻内先生からの、内視鏡での画像処理のお話もお聞きすることができ、技術的な示唆に富んだご講演でした。

また、ご講演後 そば処「ゆらり」にて懇親会を行いました。森住先生、辻内先生、小柳先生から、光学業界の昔話、裏話、海外の業界話、などの大変愉快なお話があり、盛り上がった懇親会でした。

光学器械工房 アップ・フュンフ A b 5  
<http://www.facebook.com/optischewerk.ab5/>



- 森住雅明 (もりずみ まさあき) 様 ご略歴  
芝浦工業大学、4学年の時から2年間、東大生産技術研究所、小瀬小倉研究室にて学び、マミヤ光機では、35mm一眼レフの設計、その後、ペンタックスでコンパクトカメラなどを設計。  
**1986年**、富士写真光機(その、富士フィルムに吸収され、移籍)にて、マビカシステムのカメラ、ズームレンズ、内視鏡、種々の光学機器を設計。  
**2012年**、富士フィルム退社。2012年さいたま市医療機器研究会で講演。  
**2013年**、飯塚市の産学交流会にて、医療光学機器に関して講演。  
現在、光学器械工房 アップ・フュンフ A b 5の屋号を基に、設計・組み立てを受託。

